

みらいの県土

建設発生土の適正な搬出先への確実な搬出に向けて
受発注者のみなさまに情報をお届けします

No.16

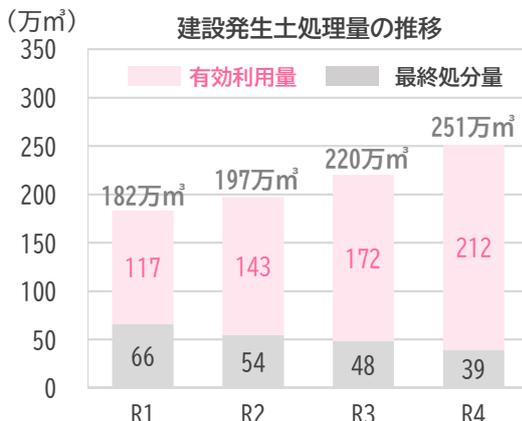
「有効利用」と「最終処分」の違いを意識していますか？



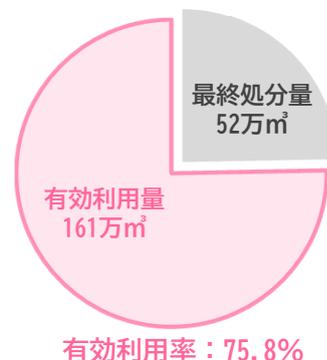
今号では、静岡県発注工事における建設発生土の処理状況についてお知らせします。

近年、国土強靱化の取組による河道掘削工事等の実施に伴い、静岡県発注工事からの建設発生土量は増加傾向となっています。

過去4年間（R1～R4）平均では、建設発生土の4分の3を有効利用し、**4分の1を最終処分**しています。



R1～R4平均処理区分割合



R4建設発生土処理状況



有効利用量
212万m³

建設発生土（最終処分） 土質区分内訳

土質区分	最終処分量
第1種建設発生土	5万m³
第2種建設発生土	6万m³
第3種建設発生土	12万m³
第4種建設発生土	5万m³
浚渫土（建設汚泥を除く）	10万m³
浚渫土以外の泥土	1万m³
合計	39万m³

第1種や第2種の良質な土砂が 最終処分されています



建設発生土の有効利用には、「現場内利用」と「現場外利用」があります。

現場内利用とは、工事の中で埋戻しや資材として再利用することです。

現場外利用は、直接、他工事等へ搬出する場合と、中間処理場（土質改良プラント・ストックヤード）において、土質改良や一時仮置きをしてから搬出する場合があります。

土質区分内訳をみると、**有効利用が可能な第1種及び第2種建設発生土が最終処分されています。今後さらに有効利用率を上げるため、土砂搬出時は「有効利用」と「最終処分」を意識していきましょう！**

静岡県建設発生土マッチングシステムに

土が欲しい工事が登録されています！

みなさん、静岡県建設発生土マッチングシステム（SSM）を上手に活用できていますか？ユーザー登録数はなんと600人を超えました！県だけでなく、国や市町、民間企業のみなさまにもご利用いただいています。

現在SSMでは、「土が出る工事」56件、「土が欲しい工事」13件がマッチング先を募集しています。（8月15日時点）

土質区分や受け入れ基準は、工事により異なります。

静岡県建設発生土マッチングシステムに登録し、募集内容をご確認ください！



土がほしい工事	～1,000m³	1,000m³～10,000m³	10,000m³～100,000m³	100,000m³～
	●	●	●	●



◆手軽に登録・情報検索

◆無料で使用可能!!

<https://ssm-system.jp/>

SSM

静岡県建設発生土マッチングシステム

Shizuoka Surplus Soil Matching System

